

公民館通信



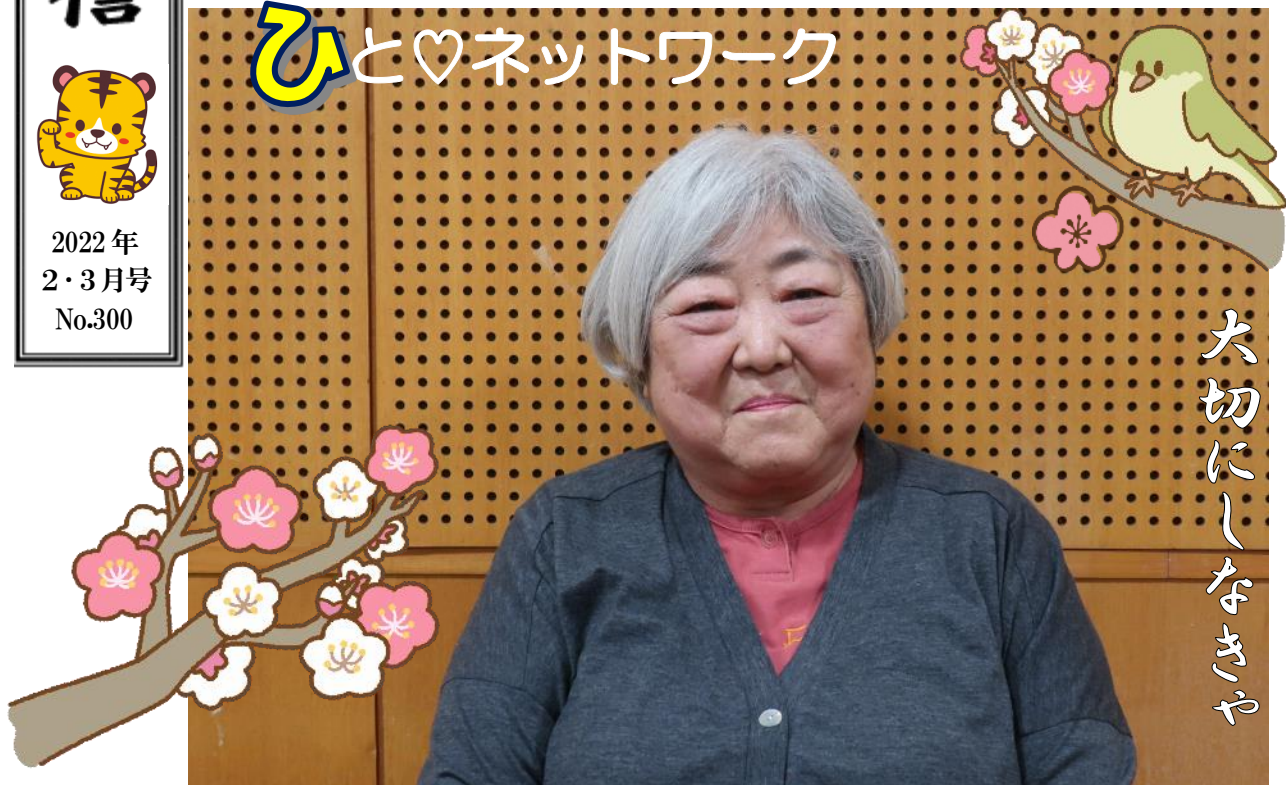
2022年
2・3月号
No.300

たのしいまち

編集：たのしいまち編集委員

発行：多摩市立永山公民館 ☎206-0025 多摩市永山 1-5 ☎042(337)6661 FAX042(337)6003
多摩市立関戸公民館 ☎206-0011 多摩市関戸 4-72 ☎042(374)9711 FAX042(339)0491

ひと♡ネットワーク



生かされた命、
大切にしながら

公民館通信たのしいまち

市民編集委員

今西 裕美さん

意識不明で2週間、生死の境をさまよっていたという。今から6年近く前のこと。目が覚めると、「すぐく明るくてきれい」なの世界で、家族の「あ、起きた!!!」の歓声と笑顔に包まれていた。病名は「サルコイドーシス」。難病指定されている慢性の免疫疾患だ。現在のふくよかな顔は、治療薬の副作用によるもの。ペースメーカー植え込み術を受けたが、喘息の持病もあり、外出は楽ではない。「葬式の話もしてたらしいよ、後で聞いた話では」とくすくす笑いなから、「生かされた命、大切にしながら」と家族の支えに、日々感謝している。

生まれはS25年、大阪で。中学生時代は砲丸投げで市の大会に出場。高校では一転コーラス部へ。タイピスト学校を経て、保険会社に入社し結婚するまで勤務した。多摩市転入後、ご主人が大けがで入院。看病に専念するなど大変な時期もあったが、その後は地域に溶け込んだ。二人の子と共に、文庫やPTA、青少年協活動にも積極的に取り組み、我が子が大人になっても、地域の子らより良い環境作りを尽力し続けた。自身はこつてこつての関西のおばちゃん。「隣り合った人に昔からの知り合いのように話しかけてしまおう」と笑い、「四半世紀前の荒んだ中学校は、今では遠い思い出」と嬉しそう。現在3人家族。飼い犬のキップと、時折顔を見せてくれる3人の孫の成長が楽しみだ。

公民館通信との関わりは、1988年発行の4号から。きっかけは、PTAで広報担当となり、教えを乞いに公民館に来たこと。「ミイラ取りがミイラになった」と笑うが、市民編集委員となって、コラム「メモランダム」でデビューした。あれから35年。公民館通信は『たのしいまち』にリニューアルして月刊から隔月刊に。継続したコラムを引き続き担当し、時折休もうた」作りに挑む。昨年度永年のボランティア活動に対し多摩市教育委員会表彰を受けた。

公民館長よりメッセージ ～公民館通信300号記念に寄せて～

多摩市に公民館が誕生したのは昭和48年8月。今は広場になっている市役所横にあった建物を思い浮かべる方もいらっしゃるかもしれません。

時は流れ、現在は市内に永山公民館と関戸公民館の二つの公民館があり、市民の学習活動の場として多くの方にご利用いただいています。

私が公民館に携わったのは、平成9年に永山公民館開館時に公民館の職員としてが始まりです。それまでは、公民館に行ったこともなく、市民の皆さんが集まって活動する場所というイメージを持っている程度の認識しかありませんでした。

公民館は社会教育施設という区分に分類される施設です。

社会教育と聞くと「なんか難しそう」と感じる方もいらっしゃるでしょう。小難しい話は置いておくとして、私自身は「社会教育ってなんでもあり」だと思っています。

極端なことを言えば、何人かで集まって井戸端会議(内容はなんでもいい。政治、経済の話、アートや文学の話、昨日観たテレビの感想、趣味を語り合う等々)をする中で人の意見を聞いたり、自分の意見を話したりすることで、自分の見聞を広めたり、成長につなげたりすることができるのが社会教育だと思っています。

いろいろな人が集まって、それぞれに思いを持って活動することができる場所。それが公民館です。皆さんも気軽に公民館に足を運んで、どんなところか見てもらえるといいのではないかと思います。

今は、コロナ禍においてなかなか人が集まって活動するということが難しい状況ではありますが、近い将来何の心配もなく皆さんとふれあえることを願っています。

最後に、公民館通信も昭和63年に第1号を発行し、以来30年以上に渡り発行を続けてきました。表紙に登場していただいた方、取材に協力いただいた方、編集に携わっていただいた方、そしてご愛読いただいたすべての方々に感謝を申し上げます。

この一年「ひと♡ネットワーク」に登場された方たちより

この一年もいろんな出会いがありました。「たのしいまち」の顔として、「ひと♡ネットワーク」に登場して下さった方たちに登場秘話・その後のご様子を教えていただきました。

- ① 表紙に出られた感想や反響を
- ② 記事への補足、新しい取組や今後の構想など
- ③ 公民館や、『たのしいまち』について一言

寄神 光代さん (多摩市文庫連絡協議会)

(2021/2・3月号)



①市民の皆様に文庫連のことを知ってもらえる機会を頂きありがとうございました。文庫連40周年の良い記念になりました。周りの方々からは「見たよ」と声をかけてもらい、市民の皆様が公民館通信をよく見ておられるのが解りました。

②昨年末、文庫連設立40周年を記念し、『手から手へ みんなの文庫』を発行しました。図書館にも置いてもらっていますので、どうぞご覧ください。当時の若き母親たちの熱い思いが伝わると思います。

③公民館で活動していますので、よくいただいて帰ります。身近な情報が満載で、いつも楽しみにしています。また、「文庫連会員が薦める本」を毎月掲載して頂きありがとうございました。文庫連が発行している「文庫連だより」にも本の紹介を載せていますが、『たのしいまち』は読者の層が厚いので、より多くの方に知ってもらえる良い機会になりました。



大澤 利美子さん(左)

(NPO法人シーズネットワーク ABo(アボ))
(2021/12・1月号)

①個人的にはあまり表立つことは得意ではないの

ですが、記事を見て頂くことで、こんな活動をやっているんだと興味をもって頂け、防災の準備をするきっかけになる事があれば、ありがたいです。

②毎年、3.11東日本大震災の近くの日程で「あそんで防災」という子どもから大人まで、楽しみながら防災について学んでいただけるイベントをやっています。今年は3/5(土)11～15時、ココリア多摩センターで行います。防災わなげクイズに挑戦した方には、プレゼント差し上げます。

③申し訳ありません。存じあげませんでした。でも、地域の中でどんな人が居るのか知ることができて良いと思います。

青木 洋子さん (多摩市文庫連絡協議会) (2021/2・3月号)



①いろいろ関わっている仲間から声をかけられたり、反響がありました。図書館学習を一緒にしている他市の仲間へ送ったところ、多摩市の公民館だよりは読み応えがあってすごいですねと褒められました。

②次の世代にも一緒に、本の世界を楽しみながら取り組んで欲しいと願っています。来年5月に新しい中央図書館もできて図書館が第2ステージとなるので、盛り上げて行きましょう。

③社会教育活動の拠点として、多摩市の公民館は市民に寄り添った活動を長年続けてこられ頼もしく思っています。今回紹介いただいたことで毎回しっかりと読み、楽しませていただいています。これからも期待しています。



瀧島 信代 さん
(子育て応援団そらいろのたね)
(2021/4・5月号)

①貴重な体験をさせていただきありがとうございます。記事は最初に職場の方が気付いて下さり、ビックリした様子でした。その後も知人から「見たよ」と声をかけていただきました。

②記事の後にメンバーが1人増えて12人になりました。3月には、そらいろのたね設立20周年を迎えます。赤ちゃんだった子も、二十歳になっていますね。仲間にも恵まれて活動を続けてきました。これからも、かわいい赤ちゃんや子ども達、ママや、パパたちとの出会いを楽しみに、頑張っていきたいと思います。

③多摩市には、地域で活動されている方が沢山いるとあらためて感じました。公民館には広い保育室があり、講座の時はお子さんの保育をしますが、保育室で子ども達はママのお迎えを待ちながら遊んでいます。講座後のママ達は、笑顔でお迎えに来ます。そんな時は、笑顔のお手伝いできて嬉しく思います。



山口 圭子 さん
(子育て応援団そらいろのたね)
(2021/4・5月号)

①趣味の会の仲間や近所の人から見たよ〜と声をかけていただきました。地域の方に私たちの活動を知っていただけてありがたかったです。

②そらいろひろば(子育てひろば:毎週火曜日に開催中)で、2月から月1回「産後ピラティス」が新たに始まります。他の週も、わらべうた遊びや作って遊ぶ簡単なおもちゃ作り、パネルシアターなど毎回親子で楽しめるひろばになっています。少人数でゆったり過ごせて、お子さんのちょっとした心配事なども聴きあえる場になっています。

③地域の多彩な活動拠点として、人と人を結びつける、なくてはならない場であり、ツールになっていると感じています。公民館の運営が職員さんだけでなく、運営委員さんをはじめ多くの市民の力で支えられ豊かになっていることを知りました。



秋山 ますみさん
(俳句結社 多摩青門)
(2021/8・9月号)

①最初は恥ずかしかったのですが、楽しいインタビューのおかげで、見ていただいた方々から「とてもいい笑顔ネ!」といわ

れました。「笑う門には福来る」笑顔は大切ですね。

②俳句とのお仲間を通じて得た多くのことを共有したいと思います。前回の俳句講座参加者の方々の句会も活発に楽しく続いています。機会があれば主宰指導のもと「判り易い初心者基礎俳句講座」を開き句友を募りたい。

③同じまちの多才な方々の活動を知る貴重な情報だと思います。住民の年齢が高くなる中、公民館という場はとても有意義でこれから益々大切です。



榊 祐人さん

(映画監督) (2021/10・11月号)

①とても有難かったです。公民館通信はいろいろな所で目にする機会が多い出版物みたいで、いろいろな方から「読んだよ〜」という反応を貰いました。特にこちらが伝えたい内容を的確に、そして素

敵な文章にまとめてくださった多摩市に住む同じ苗字のSさん(血縁関係はない)と、いろいろとこちらの想いを引き出してくれた褒め上手のNさんに感謝します。

②自分としては、これからも映画を作るように頑張っています。自分が作った過去2作では、多くの多摩市民の皆さんにご協力頂きましたし、市民の方々だけでなく、公民館の方々にもいつも応援して頂きました。そんな応援を頂きつつ、これからも作っていきます。映画を作るのは大変な部分も多いですが、楽しみながら真剣にやっています。

③あの記事のおかげもあり、その後に開催された映画の上映会にはいろんな方が観に来てくれました。記事を掲載するためにご尽力頂いた皆さんと記念に撮った写真は、自分にとって大切な1枚になりました。本当にありがとうございました!



小俣 禮子 さん
(俳句結社 多摩青門)

(2021/8・9月号)

① 俳誌「多摩青門」40号にあの表紙が掲載されました。又、思いがけず図書館で声をかけられたり、社会福祉協議会の

職員の方々に「見ましたよ!」とおっしゃっていただきました。

②次の市民企画には応募したいと準備を始めました。5年前の「俳句基礎講座」に参加し、俳句を続けている人からは良いきっかけを得たとのこと。次回このような機会がありましたら、協力応援しますと、早くも俳句の麻薬的楽しみにはまっているようです。

③趣味や経験を活かし、次の世代へのPR「あんなこともこんなこと」も…。益々住みやすい「たのしいまち多摩市」を誇りに思います。



中村 由季さん(右)
(NPO法人シーズネット
ワーク ABo(アボ))
(2021/12・1月号)

① 家族が喜んでいました。

② 多摩テレビの安全安心プラスという番組に出演させていただきました。地域の大切な情報がいっぱいつまった番組ですのでぜひご覧ください!

③ 載せていただいたのはNo.299、たくさんの方が『たのしいまち』でつながっているのですね!



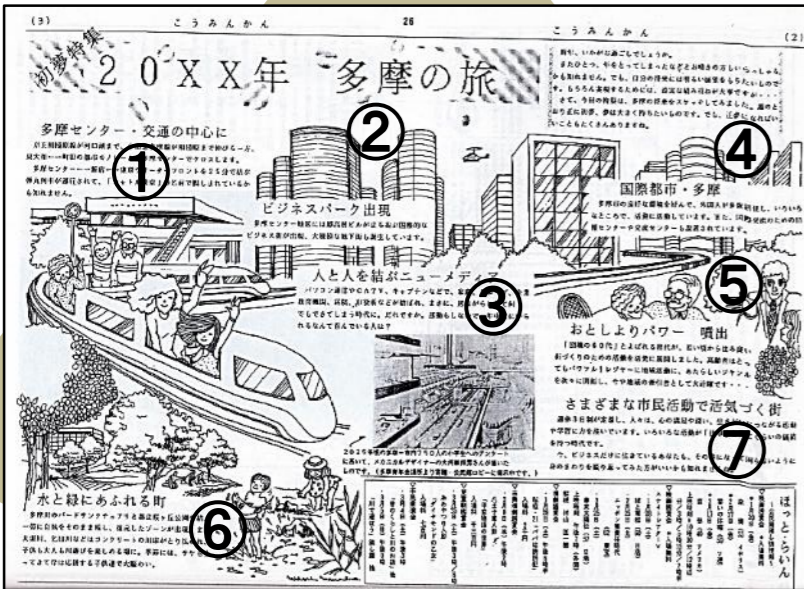
あれから、これから。 公民館通信が描いた多摩の未来——その後



検証！2022年

便利に
なっ
たよ

公民館通信が誕生して間もない頃、1989年1月号にて「未来(20XX年)の多摩の旅」を特集しました。未来の予想は怎么样了のしょう？！



① 多摩センター・交通の中心に

東大和⇄町田の都市モノレールが多摩センターでクロスします。

多摩センター～町田間延伸ルート、決定！
上北台～多摩センター間が2000年に開業。今年1月決定した延伸ルートの開通には月日がかかりそうですが、開通後は瑞穂町箱根ヶ崎から町田までが多摩センターでクロスします。

② ビジネスパーク出現

多摩センター地区に超高層ビルが立ち並び国際的なビジネス街が出現。

多摩センターは、職住近接に。
朝日生命ビル(1991年)、ベネッセ東京本社ビル(1994年)、東京海上ビル(1994年)と、オフィスビルが続々と建ちました。

③ 人と人を結ぶニューメディア

パソコン通信やCATVなどで家庭・グループ・企業・教育機関・市役所などが結ばれ、家に居ながらにして何でもできてしまう時代に。

SNSで企業や個人が簡単に情報発信！
つながるためのメディアが発達。
1995年、Windows95の登場とともにインターネットが普及。コロナ禍で、在宅勤務が広がり、働き方は多様に。多摩市役所での手続きの一部が、スマホでできるようになった。
仕事も趣味も勉強も、様々なことが自宅でも可能に。

検証！2022年

④ 国際都市・多摩

外国人が多数居住し、いろいろなところで活発に活動しています。

国際交流センター、2000年に開設。
外国人と日本人が協力し「住みやすい多摩市に」との思いで駅前施設に開設。外国人の方の人口は1989年の4倍ほどに増えました。

⑤ おとしよりパワー 噴出

団塊の60代と呼ばれる世代が若いころから住み、高齢者はとってもパワフル！

パワフルな高齢者がいっぱい！
団塊の世代(1947～49年生まれ)が後期高齢者に突入。市民活動でも明るく元気な方が多い。介護予防に取り組むなど、活動の内容も変わって来ました。

⑥ 水と緑にあふれる町

大栗川・乞田川などは子供も川遊びを楽しめる場に。

緑が多く子育て環境としては最適！
市民一人当たりの公園面積は26市で一番。大栗川・乞田川の護岸工事が進み、散歩道も整備。関戸橋架け替え工事でも進んでいます。

⑦ さまざまな市民活動で活気づく街

週休3日制が定着し、いろいろな活動が「仕事」と同じくらいの価値をもつ時代。

旧北貝取小学校跡地に複合施設オープン！
週休3日制を進める企業が現れた。4月には「未来へと人も文化もつなげる場」を理念に、「市民活動・交流センター」「多摩ふるさと資料館」からなる複合施設がオープンします。

1973年 できたてホヤホヤの公民館
(市役所東側にありました)

1995年頃 造成中の永山公民館(バルブ永山)

遊歩道も
せせらぎも
美しい♡

公民館
行こう♡

みんな
社会洗
人はつながる!



1990年 演劇フェスティバルの公演
やまばとホールにて



1990年 はづきまつり(上)での
子どもパソコン講座(下)



プログラミングをしてソフトを
動かした子どもたちは今...?!



1998年 第1回永山フェスティバル

楽ちゃんの歩き倒すぞ！

With チャリンコ&ウォーク
～多摩センター

石仏めぐりのまちあるき～ Vol.5 

⑩ 吉祥院へ。わあ、大きいお寺だ。お邪魔してみよう。門をくぐるとすぐ、貝殻の中にでもいるように寄り添う2人の道祖神。そして赤い前掛けの可愛らしいお



に2、3センチのちっちゃ～い石像様が、ズラリと7人。これがまた愛らしい。一つ並ぶと、我も我もと次々自然に集まったとお話だった。



山門をくぐると、蓮の葉の形の池もあるし、なんとと言っても植物の宝庫。ないものがないのでは？と思われるくらい、数多くの植物が育っ

ている。ナンテンの赤い実。黄緑色のイイギリの木。

桐という木は、かつて日本では女兒が生まれたら庭に植え、その子がお嫁に行く時タンスに仕立てて持たせたのだとか。キチ



ジョウソウは、小さな赤紫の花が咲くと、その年は幸せが訪れるそう。わ、じゃ、今年はスーパーハッピーな年だね♪ ああ、だから吉祥院と命名？「そういうわけではなく、もっと昔からこのお寺はあります」。ふーん、由緒正しいんだなあ。(ちなみに、この吉祥院は『キッショウイン』ではなく『キチジョウイン』と読みます。知らなかった！)

入口近くに、見事な桜が。あれっ、これ、唐木田に



ある超有名な川井家のシダレザクラに姿かたちがソックリだけど？ え、兄弟なの？元々ここに育

っていたのが、その子たちの親ザクラで。親が倒れて、そこから枝分かれして逞しく生えて来た子どもたちが、今日の前にあるこの桜と、唐木田にあるシダレザクラに育ったんですね。そうか、知らなかった！ そう思うとさらにこの子たちが愛しく感じられる。元気に育てよ。

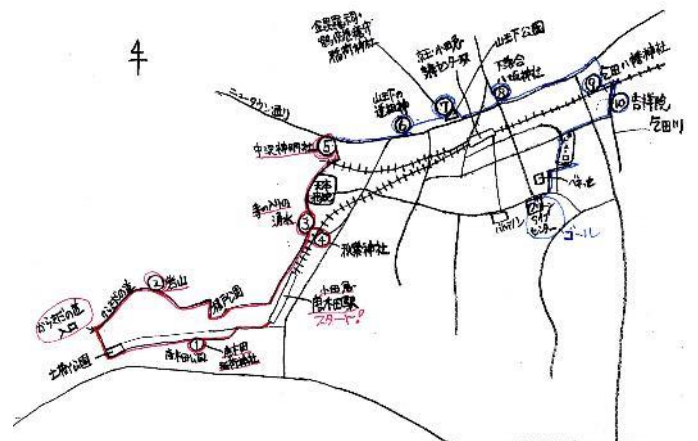
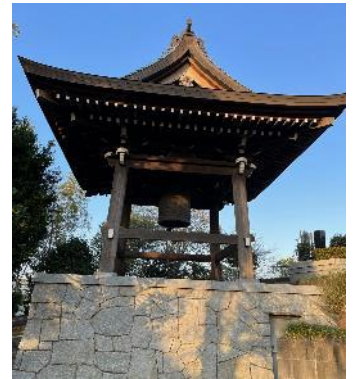
一段高いところに、立派な鐘がそびえ立つ。ああ、それで、たまに「ゴ～ン」と鐘の音が聞こえるのか。風流だな。そこからどンドン坂を上って行くと、たくさんのお墓が整然と並ぶ。こんなに広々とした敷地だったとは。毎日前を通るけど、想像すらしなかった。日当たりのいいこと！電車が眼下に見える。こんな気持ちのいいところに眠れる魂は、

幸せだな。

お墓もそれぞれ工夫が凝らしてあって、お地藏様がお墓に寄り添うように建っていたり、故人の好きだったものが石で造られていたり、家族の想いがしみわたる。

同じ敷地にアバホールがある。ここで告別式などを行い、そのまま後ろのお墓に眠れるようになっている。

吉祥院を出て多摩センター駅の方へ。お城のようにかわいいピューロランドを左に見ながら、建物に



地図(参考: まちなか石仏巡りウォーキングコース)

沿って左折。さらにかわいいランドの正面玄関を見上げながら極楽湯手前のスロープを上がり遊歩道に出て、駅方面へ向かう。

目の前に広がるのは、たくさんのイチヨウの木が見事なしまじろう広場。そこにあるしまじろうとキティーちゃん、2人の像にこんにちはをする。ああ、この季節、真っ黄色に染まっている。我が子たちが小さい頃、イチヨウの落ち葉をここで頭からぶっかけ合って遊んだっけ。多摩市内には思い出の場所が多すぎる。私にとって、これぞまさしく「たのしいまち」なのだ！もうここに骨をうずめるしかないではないか。

さあ、ここからは、ハロウィンの時に36万人の出入が繰り返すパルテノン大通りまで一直線だ。折りしも今、大通りの両側にはびっしりとイルミネーション、光の動物たち、クリスマスツリー、キティーちゃんのバルーンや水族館トンネルが息を呑むほど美しい。光の名所、これは絶対に見ておくべきだ。(12月に探検しました。)

しかし、今回はツリーの方へは行かず、左に見える白山橋を渡る。左手に白山神社があるが、今日は右手のグリーンライブセンターへ。お花のトンネルをくぐり入口へ行くと、そこにも草木やお花が咲き乱れている。実はここ、数々のドラマのロケ地になったり、



キティーちゃんのマンホールカードが配ってもらえたりと、とっても夢のある場所なのだ。筆者の息子のお嫁ちゃんと初めて会った日も、ここでカードをもらって心通わせ合ったりして楽しんだものだった。皆さんも機会があれば、ぜひぜひ訪れてみてほしい。

ここから多摩中央公園を一周すると、昔の民家や池や、素晴らしい景色が繰り返されている。それはまたいつか語ることにしよう。学芸員の橋場さんからいただいた地図は、①からスタートして、この⑩番が終着点。今回の探検も、そろそろこの辺で。

余談だが、パルテノン多摩を横切ってみた。夜中だと言うのに赤々と電気が灯っており、今(12月)も急ピッチで改修が進められているらしい。関わって下さっている方々、無理せずがんばって下さいね。パルテノンの復活をとっても楽しみに、お待ち申し上げます。

文庫連会員がお勧めする本

『せかいいち うつくしい ぼくの村』 小林豊／作・絵 ポプラ社 1995年

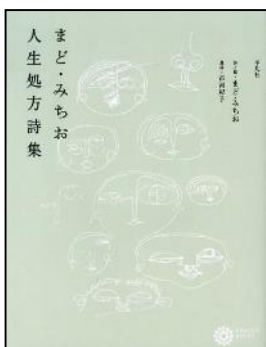


1996年「産経児童出版文化賞フジテレビ賞」受賞
春には、すもも さくら ピスタチオ等の花であふれるアフガニスタンの美しいパグマン村。夏はお父さんと一緒にあんず すもも さくらんぼを街へ売りに行きます。……小さなヤモ少年をとおして平穏な村の様子を描いています。2004年の文庫展(多摩市文庫連絡協議会主催)でこの作品の原画展と小林豊さんの講演会を催しました。それ以来この本は私の大好きな絵本となり、時々手に取って読むようになりました。作者

の小林豊さんは1970年代から80年代にかけて、中東、アジアをたびたび訪れており、その体験が作品のテーマとなっているようです。この本は教科書にも取り上げられています。その後、シリーズとして2冊の本が出版されました。1996年『ぼくの村にサーカスがきた』、2003年『せかいいち うつくしい村へかえる』併せて読まれることをおすすめします。

多摩市文庫連絡協議会 なかよし文庫 岩織 宣


『まど・みちお人生処方詩集』 まど・みちお／詩と絵 市河紀子／選詩 平凡社 2012年




新しい春がやって来ます。季節が巡り、時に流されながら私達は生きています。別れの時には泣き、出会いの時には喜びに胸を躍らせ、どうしようもない災難に希望を失い、新しい感動があり、考え悩み私達は生きています。私は詩が好きです。ことばが気持ちに寄り添ってくれるのです。この本はまさに「人生の心の処方箋」です。「ふしぎなポケット」「ぞうさん」「おかあさん」知らないうちに口ずさんでいた詩がたくさんあります。きっと、自分自身の内なる気持ちがこの詩集の中に見つかるかも知れません。





多摩市文庫連絡協議会 なかよし文庫 有田悦子

祝  300号! —永山の楽ちゃん—

多摩市 公民館通信 300号!  1988年にオギヤーと生まれ「こしみんかん」は「たのしいまち」と名を変え、市民に親しまれました。(1)

ちなみこのころ。(2)  夕々のママさん。影も形もまだない。(3)

 2003年2月ママ結婚。2005年6月りゅーた生まれる! (4)

1990.  ひろはる (5)
 1992.  おぼーちゃん
 1995.  おかあさん
 1997.  夕々のママ誕生
 2000.  夕々のママ誕生!
 2006. 3月. 夕々のママ誕生!

2006年8月。ママ、りゅーたと 75億分の1人と 6億分の1匹の出会! 奇跡の出逢いに乾杯! (6)

そして2022年。えー。りゅーた。16歳になったの?! シマも17歳手前?? 人間が言うど... 80歳?! 走り回るより ころやち 花ましられる ことがふえたいけど、やっぱり2人はずっと仲良しなのさ (7)

☆2回の引越しのムリがたたって、身体が鉛のように重く、ダンボールもペンも持てなくなり、さらに年末、ベッドから足すべらせて脇腹骨折。それをかばって生活していると、今度はギックリ腰に汗

☆2020+1東京オリンピックに続く2022冬季北京オリンピック。スノボ、ジャンプ、スケート等々連日盛り上がったものの...ドーピング、スーツ規定違反等、課題が残ってしまったのが悲しい。世界が平和でありますように! (月)

☆最近やたら忘れっぽくなった。母が歳と共に忘れっぽくなっていたのを思い出した。「お母さん、それってあのことじゃないの?」なんてね。一度倒れてからのこと...。皆様、そんな時は「それってこのことよ!」って教えて下さいね! (金)

☆最近スコーンにはまっています。美味しいスコーンのお店がありましたらぜひ教えてください! (日)

☆花粉が怖いので毎年この時期は特に引きこもりがちになる。運動不足をなんとか解消したいよ! (水)

過去の「たのしいまちうた」発掘!


かが ゆうべの
 こりめし 2007年8.9月号
 のこの 言わずに
 ただけよ
 いにち 5時起き弁当作り
 よっとはこっちの身になれ

いくつな
 は
 らないからよ 2014年6.7月号
 きてるだけで
 るもうけ
 じょうで一番幸せだって

まセンターのクリスマス
 そきにおいでよ!
 る人ぞ知る
 ルミネーション
 ちの自慢だ! 2016年12.1月号
 よお~素敵だよ!

300号記念

のしいまち300号
 のびゆく多摩市と
 みんなの幸せ
 いのりつつ
 なびと出会いを広げます
 ちやれんじ続ける公民館



☆☆ 編集後記 ☆☆